



母の追悼句

今回は思い出に残る追悼句を前坊守村上悦美に紹介してもらいます。



今年二月、実家の寺で兄の一周忌が勤まり、当方の住職がお参りしてくれました。その折り、遠縁の親戚より問い合わせの電話があり、実家の母・中山節枝の追悼句を知りたいとのことでした。

香雪の梅尽日の看取り唄

を伝えました。

母はひどいパーキンソン病で、十年以上身動き出来ないまま、九歳年上の父と二人で床を並べて休んでいました。家族皆の行き届いた看護のもと、永らく穏やかに送日させてもらっていました。

平成九年（一九九七）二月、母とのお別れの折り、兄が会葬御礼に一句を添えたいと言いましたので、咄嗟に前出の句を出したのです。

実は念信寺前々坊守・春枝、つまり姑が家で伏せておりました。当時住職は東本願寺参務で京都でしたので、お寺の諸々は今の住職が務めておりました。

お寺の用事は色々ありますので満九十歳で寝たきりの姑は私の手元に居てもらい、四年間を過ごしました。その頃に

香雪の秋尽日の看取り唄

が産まれました。看取りとて暮らしの中に

護る方も、大きいお陰のなかでみんなそれぞれに日送りしていました。実母への追悼句はこの句をもとにしたものです。

それにしても若くて元気だったなあと感じ入りますし、今は本当にお世話様にもみならずと思っています。皆様も御法体、大切に御送日なさいませう念じ申し上げます。

ながらえていのちの和音静やかに

水音の絶へぬ日没の庭

悦美

（「香雪」は白い花を形容して言う）

生きるとは？

吉田昭和（北九州市小倉北区）

私達夫婦は、私は父を、妻は母を二十代で亡くしている。亡き親は、子供の配偶者も孫達も見ること出来なかった。私達は亡き親より五十年近く長く生きている。私はこの五十年間、人生の相談相手である父親がいない事を何度と無く悔やんだ事がある。もう少し長生きをして欲しかった。



幸と思う。

私も後期高齢者の仲間入りをし、子供達は社会の中堅の年齢に達し、一応目標は達成したと思っている。只、子

供達から見ても、私の存在が役に立ったかは、私の評価ではないと思っている。長く連れ添ってくれている妻、子供達、その伴侶、孫達に囲まれて、今はとても幸せであると思う。

良くしたもので、後期高齢者になると、身体の不調、認識力の衰え等を顕著に感じるようになり、困惑している。やはり、四十年の会社生活を無事終え、妻、子供達、孫達に囲まれた人生を送れている事は、永く生きる事が出来たればこそその幸せだと感じている。

もう少しの時間、生きる幸せを家族と共に感じていたいものである。亡き父の分迄。



秋彼岸法要 法話

「正信偈」生きて死ぬとは？

日時 2022年10月4・5日

講師 瓜生崇師 滋賀県玄照寺住職

（仏法領九〇号より引き続き）

法蔵菩薩因位時 在世自在王仏所

「正信偈」の3行目と4行目です。あらゆる生きとし生けるものを救うことで私も救われたという存在を「菩薩」って言います。一人で救われていくつてのは虚しいんです。ほんとの救いじゃない。菩薩はあらゆる人々を救いたいと思つて願いをこす。その願いが成就したら仏になるんです。法蔵菩薩の願いが成就した姿が阿弥陀さん。

菩薩が因位の時つてのは、阿弥陀さんが法蔵という菩薩だった時にあらゆる人を救いた

いつて願いを起こしたんだつてことなんです。お経では法蔵は菩薩として名乗る前は国王だったつて書いてある。俺が一番幸せになりたい。私を満たしたいと思つて我々は生きてる。その姿が「国王」つていう言葉で象徴されています。

この「世自在王仏」つて非常に変わった仏さんなんです。この世において自在なる王様の仏つて書いてある。この世というのは「世間」つてことで、もともと仏教の言葉です。真実を知らないで迷つて世界のこと。生まれかわり死にかわりを繰り返して迷っていく世界から出て、本当のありのままの世界に目覚めていく。世間を出ることが仏教の目的なんです。皆さんお話聞いている目的つていうのは、世を出ることなんです。この「世自在王仏」つていう仏さんは世間を離れて覚りの世界に入ったにも関わらず、また世間に帰ってきました。

「自在」つていうのは、あらゆるものを救つていくつて意味です。生きとし生けるものの苦しみは私の苦しみである。僕らが地獄に落ちたならば、一緒に地獄に落ちる、一緒に苦しむつて言うんです。こういう救い方を選んだ仏さんが世自在王仏だったんです。その国王は国と王の位を捨てた。そして「法蔵」と名のつた。

この「法蔵」というのは、元のインドの言葉で「ダルマ・アーカラ」つて言うんです。法の鉱脈とか源泉の意味。本当のことに目覚めたいとか、知りたい、聞きたい。なんでか知らんけど、お寺に足を運んで、面白くもない話を聞いている。心の底に私一人が満たされて、生きて死んで迷っていく。本当にそれでいいのかということがある。だから虚しさとか寂しさつていう気持ちが出てきたりもする。これは法蔵なんです。



